

第1回「新居浜市男女共同参画審議会」会議記録

日 時 令和元年8月26日(月) 13:30～15:00
 場 所 市役所2階 21会議室
 出席者 秦榮子会長 近藤智佳副会長 小野千代委員 近藤博委員 藤田恭子委員
 本田郁代委員 宮川まゆみ委員 宮崎弘子委員 山本規子委員
 吉村卓代委員 頼木熙子委員 (11名)
 欠席者 秋月恭子委員 池田悦子委員 今村美鈴委員 白石真奈美委員 神野剛委員
 竹本良賢委員 水木舞委員 渡邊大輔委員 (8名)
 市出席者 岡松市民部長
 (事務局) 松木男女共同参画課長 藤田副課長 大野係長

○内 容

第1回新居浜市男女共同参画審議会

- (1) 開会あいさつ(岡松市民部長)
- (2) 委員自己紹介、職員自己紹介
- (3) 会長及び副会長の選出

【協議事項】

- ① 委員長、副委員長の選出
- ② 平成30年度男女共同参画取組み状況調査結果について
- ③ 市民意識調査について
- ④ その他

事務局	<p>それでは、ただいまから「新居浜市男女共同参画審議会」を開催いたします。まず、本審議会ですが、新居浜市男女共同参画審議会規則第5条第2項により、委員の過半数の出席がなければ開くことができないこととなっておりますが、委員総数19名に対し11名の出席で、過半数を超えておりますので、本会議は成立していることをご報告いたします。本審議会は、新居浜市審議会等の公開に関する要綱に基づき、公開とさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして、市民部長から一言ご挨拶を申し上げます。</p>
部 長	<p>・・・・・・・・・・・・・・・・市民部長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>平成30年8月1日付けをもちましての新しい委員さんとして、はじめての男女共同参画審議会であります。今期から新たに委員に就任された方もいらっしゃいますので、小野委員さんから順次自己紹介をお願いいたします。</p>

(委員)	・・・・・・・・・・委員自己紹介・・・・・・・・・・
事務局	ありがとうございました。 次に、事務局職員につきまして、自己紹介をさせていただきます。
(職員)	・・・・・・・・・・事務局職員自己紹介・・・・・・・・・・
事務局	私たち、男女共同参画課の職員が事務局となっておりますので、今後ともよろしく お願いいたします。 次に、会長及び副会長の選出をお願いしたいと思います。 それでは、会長1名と副会長2名を委員のみなさまからから選出していただきたい と思います。審議会規則第4条第1項において、「委員の互選により定めます。」 と規定されております。互選はどのようにいたしましょうか。
(委員)	(事務局案はありますかの声あり)
事務局	事務局案はという声がありましたので、事務局の方で推薦してよろしいでしょう か。
(委員)	(了承の声)
事務局	会長に秦榮子委員さん、副会長に近藤智佳委員さんを推薦いたします。 皆さんいかがでしょうか。
(委員)	(了承の声)
事務局	ありがとうございました。秦榮子委員さんが会長に、近藤智佳委員さんが副会長 に決定いたしました。 2名の方はお席のご移動をお願いいたします。 ・・・・・・・・・・会長席、副会長関へ移動・・・・・・・・・・ それでは、会長が決まりましたので、一言ごあいさつをいただきたいと思いま す。秦会長さんよろしくようお願いいたします。
会長	・・・・・・・・・・秦会長あいさつ・・・・・・・・・・
事務局	ありがとうございました。 それでは、今後の進行につきましては、(審議会規則第5条により)会長にお願 いしたいと存じます。秦会長、よろしくようお願いいたします。
会長	みなさんのご協力をいただきながら会を進めさせていただきたいと思いま す。よろしくようお願いいたします。 それでは、ただいまから協議事項に入ります。 はじめに、「平成30年度男女共同参画取組み状況」について、事務局より説明を お願いします。
事務局	(協議事項②平成30年度男女共同参画取組み状況について、資料に基づき説 明。)

会 長	ありがとうございました。皆さん只今のご説明を聞いて、送られてきた資料を読んで、どなたからでも意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。何かございませんか。はい、どうぞ宮崎さん。
委 員	13ページのいきいき暮らせる社会づくりの中で、保健センターの男性が参加しやすい介護講座や料理教室の開催が0になっているのですが、依頼がなかったからとなっていますが、これからお年寄りが増えていくので大切なことですから、0にならないようにしていただけたらと思います。
会 長	ありがとうございました。この件についてお考えがあったら言ってください。
事 務 局	担当課の方に確認しましたところ、この10年間この計画の中では出前講座ですので、依頼があれば対応しており、平成30年度は依頼がなく実施してないとのことでした。要望があれば保健センターの方では対応しているということですので、全く0という表現が皆さんからは全く取り掛かってないじゃないかと感じられると思いますが、確認しましたところ要望があれば対応してきたという返事をいただいております。
会 長	宮崎委員さんそういうことです。要望があれば出前講座ですので。
事 務 局	委員さんといましては、常態的に毎年開催すればいいかなと。
委 員	はい。1回は、開催した方がいい。私たちはいろいろな情報が入ってきますが、家にいる方はわからないので、どこかで目に付くようにしておいた方がいいかなと思います。
事 務 局	はい。わかりました。担当課へそうお伝えしておきます。
会 長	以後そのようにしてください。そのほかに何かございませんか。
委 員	出前講座ですが、実際に出前講座の申込用紙がどこにあるのか、ということ、私は自治会の活動で初めて知りましたが、公民館にあるというぐらいで、知らない人が多いと思います。市政だよりも毎月どこかに出前講座のことを出してもらえたら申し込みます。団体等からの申し込みが必要だと思いますが、ある程度紙面による広告で、そうしたら男女共同参画でこのような勉強をということが出てくるんじゃないかと思います。連合自治会で分かったことですが、できればもう少し出前講座というものを知らせてくれたらいいのかなと。
会 長	貴重なご意見ありがとうございます。そのほかに皆さんお考えになっていることございませんか。そうしましたら、先ほどの2点についてよろしく対応お願いします。
事 務 局	次に市民意識調査について、事務局よりの説明をお願いします。 (協議事項③市民意識調査について、資料に基づき説明。)
会 長	ありがとうございました。ただいまいろいろ意識調査についてご説明いただきま

委員	<p>した。お考えや、意見がありましたらどなたからでもよろしく願いいたします。</p> <p>アンケートの、追加の点なのですが、防災について追加されたというのは新しい視点だと思いますし、いろいろな所で防災組織が地域で意識が高まっている中で、やはり女性的な視線というのはとても大事だと思います。弱者に対する支援が大事だと思うので、これは追加していただいて良かった点だと思います。</p> <p>それともう1点質問ですが、今世の中で、DVの動きが女性にとってとても大切だと思うのですが、この調査をずっと長年やってこられて、DVのところでのどのくらい正確な意識が出てくるかというのは疑問なのですが、やはりそういった問題というのは、アンケートから浮き出てきているのでしょうか。</p>
会長 事務局	<p>はい。ありがとうございます。ただいまのご意見についてお答えください。</p> <p>前回の調査票の8ページの間30に、ドメスティック・バイオレンスについての質問がありますが、調査結果では、女性の回答で一番多かったのは「精神的な暴力を受けた」という項目で、41人の回答がありました。調査は、1,000通出しまして約400通の回答がありました。2番目に多かったのが、「医師の治療が必要ではない程度の身体的暴力を受けた」という項目で、23人の回答がありました。男性は全体的に少ない状況ですが、「精神的暴力を受けた」という項目で9人の回答がありました。それから、意識調査とは違いますが、現在、配偶者暴力相談支援センターを設置しておりますが、最近の3年間は、年間約200件前後推移しておりますが、警察への相談件数が右肩上がりが増えていまして、私が思うには、以前はDVという言葉自体がなかなか浸透してなかったのですが、DVという言葉がある程度浸透し、物理的に何かしてほしいという相談者が増えているんじゃないかなと思います。警察への相談により、一時保護や警察からの警告などの対応を行っているので、新居浜市あるいは愛媛県においても、相談件数自体横ばい状態ですけど警察の件数が増えているという状態になっております。</p>
委員	<p>それでですが、例えば9ページに、“被害に対して相談機関や窓口が設けられています”という項目があがっていて、たぶんこの8番までは何らかの対応をしてもらえる機関であると思うんですけど、それなら、そういったところの簡単な電話番号でも、ここに一報したら助けてもらえる。というようなことを、アンケートを利用して入れてもらっていると、アンケートに書けなくてもそういったところに連絡をするといった方もおられるかもしれないと思いますので、もし差し支えなければ、その相談機関の電話とか、別紙でもいいと思います。アンケートと一緒に、連絡してくださいというパンフレットを1枚入れておくのも一案だと思いますが。やっぱりそういった対策、アンケートをとってもたぶんなかなか人に読まれるとなると正直な答えは返ってきにくいと思うんですけど。それを利用した何か対策とい</p>

	うものを考えられるんじゃないかなと思います。
会 長	はい。ありがとうございます。連絡先などを親切に書き込んであげたらという、そういう意見でございますね。では、事務局お答えください。
事 務 局	この機会を活用して、関係機関の連絡先を記載するよう進めていきたいと思えます。
会 長	ありがとうございます。そのほかにいろいろと思いついたこと、どんなご意見でもよろしいので、お願いいたします。
委 員	文言だけのことなで。私だけが感じることもかもしれませんが。追加の一番の i の所の、“適当な相手”の“適当”というのが誰でもいいというような、言葉だけなのですが、“自分に合った”とかそれがいいと思いませんけど、誰でもいいというようなイメージになるので、“自分に合った相手にめぐり会う”もう少し適切な言葉があれば、と感じたんですが。皆さんどうでしょうか。
会 長	その点についてはどうですか。
事 務 局	この“適当な相手にめぐり会う”という表現ですが、国が実施している人口統計調査の中で、“独身にとどまっている理由”の回答項目の中で“適当な相手にめぐり合わない”という項目があり、このような表現にしておりますが、“適当な相手”の“適当”は、“自分に合った”という意味と考えております。
委 員	そこら辺の背景は私もわかりませんが、皆さんの意見を入れていただいて、検討していただいたり、やっぱりこの方がいいとか、国からのものだったらやっぱりこれに合わすとか。
事 務 局	意見を取り入れ、表現を検討します。
会 長	それでは、藤田さんどうですか。
委 員	はい。問10修正のところの、質問がこれでいいのかもしれないんですけど、d以外のところは、“～である。”とか“～べきである。”“よい。”と書かれ方しているのですが、dだけ“考え方”と留めていますが、これはこれでいいのか、書き方だけなんですけど、どうなのかなと感じたんですけれど。
会 長	事務局この点についてお答えください。
事 務 局	表現を他の質問に合わせて考えていきます。
副 会 長	たとえば、“私は「男性は仕事、女性は家庭」という考え方である”とか、そういう言い方にすればいいのかなと思います。
会 長	今までどおりありきたりじゃなくて、今、委員さんから意見が出ているのは、マンネリ化になっているのを今一步改善した表現の方法とか考えたりすればいいのかなと思ったり、この会は男女共同参画が15年20年かかって市民を啓蒙啓発してくださっている、皆さんで何を取り入れて何を改善するのか考えているのです。

	次はその他です。
委員	縁結びサポート事業ですが、カップル成立率が高いですね。2分の1ぐらいですが、成婚率はどのくらいですか。
事務局	この事業は、平成29年9月から開始しており、約2年経過しておりますが、4組が成婚しているという状況です。
委員	成婚するまでいろいろとサポートできればいいと思うのですが、なかなか難しいということですね、こればかりは。
事務局	今質問いただいたので、資料を2枚見ていただけたらと思います。“（3）新居浜市結婚サポーターの認定”というところですが、これは現在23名の方が、ボランティアで結婚サポーターとなっていておりましたが、“愛結び”という1対1のお見合いシステムで相手を探して、お互いに会いたいとなった時に、まずは、カップルの引き合わせをしますが、その日時を調整をしていただいたり、交際のアドバイスをしてもらったり、カップルになった後もフォローをしていくという形で、サポートしています。また、婚活イベントを実施していますが、これにも参加していただいて、フリートークのときなどに、なかなか話しかけ辛いという方がおられたら補助的な形でサポートしてもらっています。カップルになって成婚になるようにサポートしているという状況です。
委員	もう一つ。H委員さんもおっしゃっていた、ドメスティック・バイオレンスですが、精神的暴力モラルハラスメントのことだと思うのですが、モラルハラスメントに関しては、自覚がない方がすごく多いので、女性も男性も両方共が気付いてない。辛い思いをしているのに気が付いてない。そうゆう方が多いので、モラルハラスメントに関しては、状況説明というか、モラルハラスメントではないですか、辛い思いしてないですか、という提案があればいいなと思います。トイレに座ったらいつもある、辛いことがあったらここに連絡くださいという、あれは有難いなと思って見えています。男性トイレにもちょっとなにかあればいいですね。 モラルハラスメント、本当に難しい問題で、そのことについての提案というか、そのような状況説明とか、教えてあげるとか、こういうのはそうなんじゃないですかとか、辛い思いしてないですかとか教えてあげることとかができたらいいなと思います。
会長	ありがとうございます。知っている上にもう少し確認して知らせてあげようというように形で横文字に対するいろんな注釈など練っていただけたらというご意見のように思ったのですが、よろしくお願ひします。この件についてどうですか。
事務局	ハラスメント関係については社会的な問題、パワハラに始まって様々なハラスメントを周知していく必要があると思います。周知の仕方については、検討させてい

	<p>ただいでわかりやすい形でやっいてこうと思います。</p>
会 長	<p>では、Yさん、どうですか。</p>
委 員	<p>これまで活動してきて、低年齢化しているのので、中学生、高校性へのデートDVの出前講座を行っています。こういう会合はいろいろありますが、通達されない、人に届かない、自分で公民館などに行かなかつたら全然何をしているのか分からない、行ってみないと分からない、行つたら誰かに伝え連絡するということを重んじて、自覚の問題ですが、そのようにしたらいいと思います。</p>
会 長	<p>ただいまのご意見、知らせる方法などを行政が考えていただいたらということをお願いします。</p>
委 員	<p>チラシは置いているんですが、みんなわかつてないので、一人にでも二人にでも伝えるような広報というか。</p>
会 長	<p>何かありますか。これは難しいのですが。</p>
事 務 局	<p>市政だよりの特集や毎月のお知らせのようなものを利用する方法もあるかと思ひます。</p>
委 員	<p>市政だよりででも見てない人が多いですね。自治会でもやめる人がおります。</p>
事 務 局	<p>例えば婚活事業ですが、市政だよりの、市や委託事業者のホームページ、Facebook、Twitter、チラシ、ポスターなどの広報を行っています。広く知っていただくことが大事だと思いますので、いろいろ工夫しながら周知していきたく思ひます。</p>
会 長	<p>Y委員さんがおっしゃつた様な、段階をおつてお知らせできるような方法があれば、公民館だけじゃなく、公民館に行かないならどうすればいいの、そういうご意見もいただいたので、どうしたら多くの人に知らせできるかということも考えてくださった上でよろしくご検討ください。</p>
	<p>では、続いてよろしくお願ひします。</p>
委 員	<p>教えていただきたいのですが、会議所でもアンケートを取るときは、なるべく簡潔にアンケートを返してもらつようなかたちで、ということに心掛けています。立派なアンケートの内容になっていますが、一体どのくらいの方が回答をしてくれているのかというのを教えてください。また、無作為に1,000人ということになっていますが、男女比は同数ということなんでしょうか。年齢層というところで統一しにくいアンケートの仕方とお考へになっているのかどうか。今の若い人たちは昔のような考へ方が少なくなつてきている中で、今後さらにどうするの、というものを見据えていくためのアンケートということでしたら、やはり若い世代の方のアンケートを取るのがいいかなという気がするので、無作為というのは文書だけなのか、実はその辺りも踏まえてお取りになる予定なのか、というところを教えてください。</p>

	ただきたいのですが。
会 長	はい。お答えください。
事 務 局	全体で1,000人を選んでいきます。回答が前回で413人、41.3%の回答率でした。若い人に未来的なことを聞いた方がいいのではないかと提案があるのですが、意識の変化というところに焦点をおくと、5年前、10年前と同じ質問にどのように答えてきたかという点を見るということが、ある程度今回の視点になっています。先程の提案は、例えば結婚についてどう思うかとか、20代30代をメインとするテーマなど、テーマによっては今言われたような年代をもっと絞り込んでやる方法もあると思います。今回は、市民の意識調査ということで男女共同参画が20代の若い方から高齢者の方までどの程度浸透しているのかとか、どのような考え方をしているのかという意識を見たいと考えています。今回も単純無作為抽出によりますが、結果として男女比や年代、地区のバランスは取れていると聞いております。
会 長	今、事務局から回答されましたが、20代50代60代以上とか、回答した人が年齢を書くところもありますね。アンケートによっては、そのところをまとめて40～50代の人だけを集計したらこうだったというような年代層の皆様に通達もできますし、行政もいわゆるソーシャル・キャピタルとして一歩前進できるのかなと思いました。
事 務 局	質問項目はいろいろありますが、回答者の負担にならないという視点もいるように思います。
委 員	もうすこし少なく質問項目をまとめてもいいのかなと。
事 務 局	本来なら幹の質問項目があって、それに関連して2つ～3つの質問ができれば詳しい質問ができますが、回答した選択肢により、次の回答する番号が異なれば、回答者が混乱することもあるかと思しますので、ある程度簡略化した形になっています。
会 長	いろいろ問題点が探せば探すほどあるかと思いますが、まあこれぐらいだったら改善できるかな、市民も了承できるかなというところに一歩下がっていただいて、よろしく願いいたします。
	それでは続いてお願いいたします。
委 員	先ほどのハラスメントの件なのですけど、大人になってからっていうのは非常に難しいと思うんですね。こういう思想的なものを改善するというのは。だから、幼稚園ぐらいから優しい言葉で教育するというのが大切だと思います。それなりに幼稚園・保育園あと小学生だったら小学校、いじめなんかもこういうことから発展していくと思いますので、それなりのレベルによつての説明で高校生まで、年に一回

	とかいう感じで教育していくというのが早道ではないかと思っています。
会 長	ありがとうございました。この件についてなにかありますか。
事 務 局	教育委員会の方にもそういった意見があったということをお伝えしたいと思いま す。
会 長	皆さんからいろんなテーマにそってご意見をいただきました。一步前進の改革の 仕方をこの男女共同参画の皆さんが、明るく住みたい住み続けたい町にするのはそ うなのかなと思います。 いろいろなご意見いただいたんですが、最後にその他になりますが、ご意見がご ざいましたらお願いいたします。
事 務 局	(協議事項④その他 縁結びサポート事業について、資料に基づき説明)
会 長	ありがとうございました。いろんな状況を知らせていただきました。 それでは事務局から。
事 務 局	皆さんからご意見いただきましたが、市民意識調査のこれからの予定ですが、皆 さんに審議していただいたことを基に、市内の1, 0 0 0人の方にアンケートを実 施いたします。その前に委員の皆様には、調査の内容について9月に郵送で送らせ ていただき、印刷の発注をして、1 1月に市民の方へ発送します。1 1月末ごろま でに回答が返送され、集計・分析行った結果、報告書を作成しまして、3月末ごろ に、また委員の皆様を送付させていただく予定としております。これからは、来年 度の第3次新居浜市男女共同参画計画の策定に向けましても、このような審議会の 開催のご案内もまた差し上げるようになると思いますので今後ともご協力をお願い いたします。ありがとうございました。
会 長	事務局から、皆様には順次進捗状況はお知らせしてくださるそうです。他に何か ないようでございますので、副会長さん閉会の挨拶をお願いいたします。
副 会 長	はい。このアンケートについてですけど、いろいろな調査をすると同時に、市民 の皆様への啓発という意味も込めていますので、ある程度親切な内容をというの と、お話に出ましたように横文字に関しては、ちょっと書きすぎかなという点があ るかもしれませんが、例えば、ワーク・ライフ・バランスことについて、1 1ペー ジに書いておりますけど、ワーク・ライフ・バランスとはという形で説明がありま す。こういった風に日本語でも横文字としても少し、それをアンケートに答えると 同時に何かしら得るものがある、情報がある、というようになっていけたら、とて も素敵なアンケートになるのではないかなと感じました。また情報の件ですけれど も、以前、私がアンケートの整理をしたことがあるのですが、年配の方には文字 で、ちょっと若い方やお忙しい方にはQRコードを付けたもので、こちらにアクセ スしていただければネットでいつでも2 4時間答えられるし、郵送もしなくていいで

すよという形でアンケートをしたところ、非常に回収率が良かった経験がありますので、すぐにとはいかなくても今後そういう形もあるのかなと思います。また、男女共同参画をやっていくというのは人権のすべてのことをやっていくことに繋がると思うのですが、もう一つ今日、婚活をいろいろお伺いして、結局のところ新居浜市もこれから人口が減っていくので、それをある程度食い止めるにはどうしたらいいか、というところに行きつくと思うんですね。今いる人たちをいろいろなところで奪い合うんじゃなくて、新居浜に住んだらどんな幸せな将来があるかということも少しでも男女共同参画を通じて発信してですね、選んでいただける、それから新居浜市の趣旨を賛同する人に住んでいただける町にするという意味で、男女共同参画の役割が大きいのかなというふうに思いました。

以上をもちまして、令和元年第1回新居浜市男女共同参画審議会を終わらせていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。

以上